

令和 7年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493300022	事業の開始年月日	平成18年5月1日
		指定年月日	平成18年5月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホーム みんなの家・横浜三保2		
所在地	(〒226 - 0015) 神奈川県横浜市緑区三保町994		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和7年12月13日	評価結果 市町村受理日	令和8年2月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑多い自然豊かな土地にあるホームです。ホームには広い農園があり、夏にはトマトやキュウリ、茄子などの作物を作り、冬には大根や玉葱、白菜など色々な作物を作り、収穫をご利用様と一緒に楽しんでいます。ホーム内では、毎日ラジオ体操・Alsok体操・ノア体操・ヨガを取り入れた体操やカラオケ、書道、脳トレなど個々の特技を活かして頂いています。ホームで行う四季折々の行事には、旬の食材を味わうさんま祭りなどもあり、ご家族様や近所の自治会、老人会の方々も一緒に参加して頂き、協力体制が深まっています。職員全員で「笑顔の絶えない明るい家族」を理念とし、日々取り組んでいます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和8年1月14日	評価機関 評価決定日	令和8年2月2日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】 ◇地域との密な交流 自治会の納涼祭、避難訓練、三保町どんど焼き、子供神輿、出初式など地域活動に参加し、地域に溶け込み地域の多様な資源を活用している。事業所の避難訓練には炊き出しの準備や納涼祭、季節のサンマ祭りなどのイベントに地域住民に協力してもらい、地域に支えられ、支えている関係にある。 ◇農園のある自然豊かな環境 利用者は、春には職員と一緒に畑に苗を植え、苗の成長を見に行き、夏にはトマト、キュウリなどを協力して収穫を楽しみ、冬には大根、玉ねぎ、白菜などの収穫をし、自分が関わって育てたという充実感を得ている。収穫した野菜は利用者の食卓を賑わしている。 ◇多様な体操プログラムで体力維持と脳の活性化 法人がリモートで提供している4種類の運動メニューを行っている。ノア体操では体を動かすと同時に頭を使うことで、脳を刺激し活性化させる効果がある。 【事業所が工夫している点】 ◇家族参加のケアカンファレンスによる介護計画 利用者や家族の意向を取り入れ、職員が話し合いのうえ、利用者がより良い生活をするための介護計画を作成している。家族のケアカンファレンス参加による新たな意見や要望を反映した介護計画により、利用者、家族の安心につながっている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム みんなの家・横浜三保2
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に掲示し、職員全員で同じ方向性で実践に取り組んでおります。地域行事に積極的に参加し、密着した関係作りに努力しています。	・事業所理念は「笑顔のたえない明るい家族」で玄関に掲示している。「家族」とは利用者、職員、利用者家族も含んでいる。 ・今年の新年の集いでは利用者全員と11家族、職員の参加を得てレストランで中華料理を満喫した。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、子供110番の受け入れを行っている。地域行事にも積極的に参加し、地域の方々も避難訓練時の炊き出し準備、納涼祭、さんま祭り等のイベントの際には力を貸して下さいます。	・自治会に加入して、地域の避難訓練、納涼祭、子供神輿、出初式、おしゃべりの会などに参加している。 ・事業所の避難訓練やサンマ祭り、納涼祭などのイベントで地域の協力を得るなど、地域の人々との関わりを積極的に持つ努力をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣ホームと協力しながら2か月に1回程度『オレンジカフェ』を開催しており、認知症の人の理解を深めて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回地域包括・ご家族様代表・地域の方・スポーツ推進員・青少年指導員・地域包括の方々に参加して頂き、活動状況や出来事、事故報告を行っております。意見・要望に対して、ホーム会議等で話し合いサービス向上に活かしている。	・運営推進会議は地域包括支援センター、家族代表、スポーツ推進員などの参加を得て年6回開催している。 ・地域との情報交換や、出席の近隣同一法人事業所にイベントへの参加の呼びかけをおこなうなどの話し合いをした。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃より生活保護担当の方と連絡を取り合っている。地域包括の方には運営推進会議の際にホームの様子を見て頂ける様イベントを合わせるなどしている。	・運営推進会議にあわせてイベントを開催し、地域包括支援センターの職員に事業所の様子を見てもらっている。 ・区主催の感染症の研修を受講し、手洗いチェッカーをレンタルした。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的に身体拘束適正化検討委員会を開催しています。会議や研修を行うことで身体拘束に伴う弊害等を確認し合います。又、身体拘束ゼロマニュアルの読み合わせを行ない、話し合いをしております。	・「身体拘束適正化のための指針」を整備して身体拘束をしない介護を実践している。 ・会議や研修では、繰り返し行動制限の言葉かけや不適切な言動がないか話し合っている。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待防止委員会を開催し、チェックシートをもとに皆で話し合いをしています。ご利用者様への声掛けにも十分配慮し、虐待防止に努めています。	・「虐待0」の行動指針を事務所に掲げ、日々確認を行い虐待防止の徹底に努めている。 ・法人内部監査室で職員に対し、匿名の虐待アンケートを取り、その結果を話し合い、職員全員で虐待防止の意識を再確認している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な方に支援出来るように、成年後見制度について学ぶ場に参加しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約書に基づき、丁寧に説明しております。納得・ご理解して頂いた上で契約して頂き、ご家族様の不安を取り除けるよう努めております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様のお話を伺い、ご家族様方はショートメールを利用する事により、連絡が密になり、職員皆が共有しやすくなりました。カンファレンスの参加の希望を伺い、改善に取り組んでいます。	・家族に連絡が必要な時などに、ショートメールで利用者の最近の様子や取り組みを伝え、家族から要望や意見を聞く機会としている。 ・家族参加のカンファレンスの時は家族の意見を前向きに受け止め、運営に活かしていくよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ホーム会議・各フロア会議を行ない、職員の意見・要望を聞く機会を設け、職員同士が随時意見交換し、業務に反映出来るよう努めております。又、年2回個別面談実施し、個々意見等聞く機会を設けております。	・年2回の職員との個別面談で、心身や家庭の状況を把握し、意見や提案などを聞いている。 ・職員にはそれぞれ役割があり、行事担当者は利用者の希望や職員間の意見をもとに費用、人員、安全対策など責任を持って主体的に行事企画書を作成している。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員1人ひとりに委員会や居室担当などの役割があり、責任・向上心を持って取り組んでいます。家庭事情も配慮し、希望に沿ったシフト作成をしています。働きやすい環境作りに努めています。	・有給休暇の取得は取りやすい環境にある。 ・休憩時間は職務から離れて1時間取得している。 ・人事考課制度があり、職員の努力・実績を処遇に反映し、モチベーションの向上につながっている。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の経験に合わせた法人内外研修を受けられるようにしています。研修後、現場で勉強会を行い、実践・指導により向上しています。	・職員の経験や段階に応じた研修があり、スキルアップ、知識向上のための研修を勧めている。 ・資格取得支援制度を設けており、職員の資格取得に力を入れている。介護福祉士の資格保有者は75%となっている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームと一緒にオレンジカフェを開催しております。社内の事業所長会議や委員会等で事業所との交流があります。また横浜市グループホーム連絡会に加入しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談の際にはご本人様やご家族様の意向を聞き取り、入居直後は不安や困っている事に傾聴しながら、信頼関係が持てるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学、実態調査を通し、ご家族様の不安や要望等を聴きながらご利用者の状況把握をする事を心がけ、ご本人様が安心して生活が出来る様に対応する事を伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	法人内の入居担当者との連携、相談にて速やかに対策を考えて報告している。ご本人様・ご家族様の意向を聞き、職員間で話し合い、ニーズを見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能を活かし、食器拭き・洗濯たたみ・掃除など、出来ることを職員と一緒にいき、お互い支え合いながら日常生活を過ごしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に近況を話したり、月に一度『一言通信』という手紙をご家族様に送ることで情報を共有しています。又、行事やレクリエーションを共に楽しむ機会を持てるよう働きかけ、外出時にも協力して頂ける関係を築いています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人が面会に来られたり、他の施設の奥様との交流があります。また個別外出をしている方もおり、ホーム入居により関係が途切れないよう支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど毎日、利用者家族の面会があり、友人が訪れる時もある。 ・家族対応で個別に食事などで外出や外泊をする利用者もいる。 ・これまで馴染みにしていた交流が継続できるように支援をしている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が協力し合いながら食器拭きをしたり、レクレーションに取り組んで、楽しく生活出来るよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人宛の郵便物の返送、電話連絡を行っています。契約終了時後も相談があった際には、アドバイス等させて頂いています。看取り退居された家族様方が、来所して下さいます。（畑・カラオケ）		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中で、思いや要望を聞き出しています。又、ご家族様からご利用者様に関わる話を聞くよう努力しています。何事でも、本人の意向が叶えられるよう努めています。	・個別対応になる入浴や、夜勤の時などに本音がでて、本当のニーズを把握することができる時がある。 ・利用者日々の変化やつぶやきなど、職員同士で情報を共有し、利用者の希望に添えるように支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時に生活歴・生活状態をご利用者様本人とご家族様から情報収集し、入居後も把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	フロア会議を行ない、1人ひとりの心身状態を考慮した残存機能について話し合い、無理のない現状維持・把握に努め支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様・ご家族様の意向や生活歴を取り入れ、その人らしく、より良い生活が出来るよう職員間で話し合い、介護計画書を作成しております。	・利用者や家族からの意向を取り入れ、関係者、職員のほか、可能な家族はケアカンファレンスに参加してもらい介護計画を作成している。 ・長期計画を1年、短期計画を半年とし、状態に変化があった時は見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録はタブレット入力。日常の様子や会話等を記録しています。フロア日誌も活用し情報共有してます。月1回フロア会議や状況の変化など必要に応じて話し合い、介護計画書の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	重度の利用者様には、医療関係者との連携を図りながら看取り介護を行っています。また、家族様の要望を聞き、必要なサービスを提供しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等の際にはボランティア様に協力依頼し、楽しんで頂ける環境作りをしています。又、地域開催イベント等、介護タクシー利用にて外出し、楽しんで頂いています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回訪問診療があり、血液検査やレントゲン等も受けられます。特変時等は24時間連絡が取れ相談可能です。ご家族様と協力し適切な医療を受けられるように支援しております。	・事前の連絡で血液やレントゲンなどの必要な検査を協力医の訪問診療時に受けることができる。 ・通院は家族対応をお願いしている。週1回、法人内の看護師の訪問があり、健康面からのサポートを受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回医療連携看護師による定期的な健康管理を行っております。ご利用者様の個人ノートに健康状態や気づきを記載して診て頂いてます。気軽に相談できる関係で助言を頂いてます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご利用者様の普段の状態をサマリー提供しております。入院中はお見舞いにて、早期退院に向け病院側と情報交換に努めています。ムンテラの際には同席し情報共有しながら対応しております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	『重度化した場合の対応に係る方針』『看取り介護マニュアル』に沿って、ご家族様・医師・職員で話し合い連携体制を取っています。又、看取りケアプランを作成し、ご家族様・医療関係者と連携しながら支援しております。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時の説明後、本人の状態変化に伴い再度話し合い、希望に沿った支援をしている。 ・看取り経験は多数あるが、生活の延長線上にあり、且つ厳粛な時であると管理者は考えている。振り返りをし、次のケアに生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍職員向けに英語版の看取りマニュアルを作成しました。今後は事業所としてどう個別対応していくかの独自マニュアルの必要があると考えています。検討が望まれます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に消防署指導のもと、心肺蘇生法を学び、直ぐに対応出来るようにしています。緊急時・事故発生時の対応マニュアルは目の届く場所に掲示しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行っております。うち1回は夜間想定訓練実施。消防署長、地域の消防団の方が協力して下さいます。備蓄の充実に努め、防災頭巾や充電式電灯など準備しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署・消防団の協力を得て避難訓練をしている。BCP（業務継続計画）の見直しも兼ねた消防・炊き出し訓練はボランティアの協力を得ている。 ・災害備品の保管場所の周知、階段や廊下の整理の必要があると考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いざという時に速やかな行動ができるよう、災害時備蓄品の保管場所の周知及び避難時の経路確保のためにも階段周辺や廊下の整理が望まれます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ時など、その人に応じた声掛けを行い自尊心を傷つけることのないよう注意しています。転倒予防の為、すぐに気づき、駆け付けられるようにドアを開放していますが、ドアの変わりに、つい立をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・入職時研修があり、認知症理解、接遇、プライバシー保護など全職員が必ず学んでいる。 ・本人の性格を把握し、自分のペースで過ごしてもらっている。 ・羞恥心を伴う支援時のさらに高い意識について管理者が職員に話している。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お茶など、好きな飲み物を提供しています。又、普段の会話の中で思いや希望を聞き出しています。「髪を切りたい」「お寿司が食べたい」等の要望が聞かれましたら、早急に対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外に出たいとの希望があれば散歩時間を設け、家事のお好きな方は、手伝いをしていただくなど、一人ひとりの希望に沿えるよう支援しております。昼食後の昼寝時間も大切にしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	「パーマをかけたい、髪染めしたい」等の要望に対しては訪問理美容に来て頂いてます。外出時やイベント時には化粧をしたり、おしゃれが出来るよう支援してあります。納涼祭には浴衣を着て頂いております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶を入れて頂いたり、盛り付けを手伝って頂くなど、職員と一緒に準備しております。食後の片付けも出来る範囲で、食器拭きなどして頂いてます。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者全員、家族、職員が参加した中華レストランでの正月の集い、納涼祭、さんまパーティなど「食」に関するイベントを大切にしている。近所からもらったキャベツは利用者が千切りや下準備の手伝いをし、お好み焼きにした。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好き嫌いを把握し、食材注文時は代替品に変更しております。食事形態は常に配慮し、水分摂取の少ない方へは、容器や味を工夫し、個々の状態に合わせて摂取できるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行なっております。1人ひとりの力に応じて介助しています。又、月4回歯科衛生士・月2回は歯科医師にお越しいただいており治療やアドバイス等いただいております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	毎食後は、トイレ誘導しています。又、1人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛け誘導しています。排泄サインを見逃さないよう支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> 自立をしている人だけでなく、職員の適切な定時の声掛けや誘導で、利用者は現状維持を保ち、日中はトイレで排泄をしている。 夜間帯は睡眠を優先しているが、本人が起きてトイレに行く場合は職員が付き添っている。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご家族様協力のもと、個々に応じたヤクルト・ヨーグルトなど排便を促す食べ物や飲み物を提供しています。又、水分量にも気を付けています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴状況に応じて声掛けしています。拒否がある場合には対応職員を変えたりすることで週2回のペースで入浴して頂くよう支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> 週2回の入浴を支援している。 1階浴室にリフトがあるので、介護度が高い2階利用者も使用している。 自立度の高い利用者は職員のドア越しの声掛けや見守り支援を受け、自分のペースで入浴している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転に配慮しながら、利用者様の状況に応じて休息して頂いてます。普段は、昼食後に居室で30分程休息を促しています。30分休息も定着しています。居室の空調も調整し、体調に合わせて日常静養して頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援システム「服やっくん」を導入。写真付のケースに当日分の薬を入れ、必ずWチェックし、ご本人様へ確認をして頂き服用していただくことで誤薬防止に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯・食器拭きなど、個々に応じた役割や、気分転換に外気浴しながらのお茶をするなど、喜びのある日々を過ごせるよう支援しています。又、散歩や個別外出をしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候に合わせた、外気浴や散歩を行っています。日頃の利用者様との会話から希望を把握し、買い物や食事に外出しています。又、ご家族様の協力を得て、全員で外出するイベント等も開催しております。	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や外気浴のほか、個々の力に合わせ買い物に出かけている。 ・老人会のおしゃべり会、どんど焼き、緑区民祭りなど地域行事に継続して参加している。 ・家族の協力を得た個別外出も自由に出かけてもらっている。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近所のお店で買い物をする際には個々の能力に応じて、買い物をいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様へ電話されたり、知人との手紙のやり取りなど、ご利用者様の状態・能力に応じて支援しております。年賀状の希望を伺い必要な方には購入やポスト投函等の支援を行っております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気や、居心地の良い空間作りに努め、季節感のある物を飾っております。庭に面したドアから、車椅子でも外に出られるようスロープを設けています。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物内は清潔感を保っている。消毒・換気・温湿度管理にも注意を払っている。 ・制作品やさまざまなイベント時の写真を展示している。 ・リビングのテーブルの配置を工夫し、お互いが居心地よく過ごせるようにしている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お一人お一人の居場所を大切にしており、他利用者様と雑談したり出来る長椅子を設置してます。庭先にも長椅子を置き、ゆったり過ごせるよう工夫しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と相談しながら、テレビや個々の使い慣れた家具や写真等を置き、居心地良く安心して暮らせるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・居室にはベッド・クローゼット・タンスなど備えつけているので、すぐに生活を開始できる。 ・本人の馴染みの物、大切なものを持ち込んでいるほか、ベッドなどの配置は好みや動線に合わせ、本人が寛げる居室にしている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態に合わせた自立支援の検討を行い、混乱や失敗のないように配慮し、安全な生活が送れるようにしています。		

事業所名	グループホーム みんなの家・横浜三保2
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に掲示し、職員全員で同じ方向性で実践に取り組んでおります。地域行事に積極的に参加し、密着した関係作りに努力しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、子供110番の受け入れを行っている。地域行事にも積極的に参加し、地域の方々も避難訓練時の炊き出し準備、納涼祭、さんま祭り等のイベントの際には力を貸して下さいます。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣ホームと協力しながら2か月に1回程度『オレンジカフェ』を開催しており、認知症の人の理解を深めて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回地域包括・ご家族様代表・地域の方・スポーツ推進員・青少年指導員・地域包括の方々に参加して頂き、活動状況や出来事、事故報告を行っております。意見・要望に対して、ホーム会議等で話し合いサービス向上に活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃より生活保護担当の方と連絡を取り合っている。地域包括の方には運営推進会議の際にホームの様子を見て頂ける様イベントを合わせるなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的に身体拘束適正化検討委員会を開催しています。会議や研修を行うことで身体拘束に伴う弊害等を確認し合います。又、身体拘束ゼロマニュアルの読み合わせを行ない、話し合いをしております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待防止委員会を開催し、チェックシートをもとに皆で話し合いをしています。ご利用者様への声掛けにも十分配慮し、虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な方に支援出来るように、成年後見制度について学ぶ場に参加しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約書に基づき、丁寧に説明しております。納得・ご理解して頂いた上で契約して頂き、ご家族様の不安を取り除けるよう努めております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様のお話を伺い、ご家族様方はショートメールを利用する事により、連絡が密になり、職員皆が共有しやすくなりました。カンファレンスの参加の希望を伺い、改善に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ホーム会議・各フロア会議を行ない、職員の意見・要望を聞く機会を設け、職員同士が随時意見交換し、業務に反映出来るよう努めております。又、年2回個別面談実施し、個々意見等聞く機会を設けております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員1人ひとりに委員会や居室担当などの役割があり、責任・向上心を持って取り組んでいます。家庭事情も配慮し、希望に沿ったシフト作成をしています。働きやすい環境作りに努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の経験に合わせた法人内外研修を受けられるようにしています。研修後、現場で勉強会を行い、実践・指導により向上しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームと一緒にオレンジカフェを開催しております。社内の事業所長会議や委員会等で事業所との交流があります。また横浜市グループホーム連絡会に加入しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談の際にはご本人様やご家族様の意向を聞き取り、入居直後は不安や困っている事に傾聴しながら、信頼関係が持てるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学、実態調査を通し、ご家族様の不安や要望等を聴きながらご利用者の状況把握をする事を心がけ、ご本人様が安心した生活が出来る様に対応する事を伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	法人内の入居担当者との連携、相談にて速やかに対策を考えて報告している。ご本人様・ご家族様の意向を聞き、職員間で話し合い、ニーズを見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能を活かし、食器拭き・洗濯たたみ・掃除など、出来ることを職員と一緒にいき、お互い支え合いながら日常生活を過ごしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に近況を話したり、月に一度『一言通信』という手紙をご家族様に送ることで情報を共有しています。又、行事やレクリエーションを共に楽しむ機会を持てるよう働きかけ、外出時にも協力して頂ける関係を築いています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人が面会に来られたり、他の施設の奥様との交流があります。また個別外出をしている方もおり、ホーム入居により関係が途切れないよう支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が協力し合いながら食器拭きをしたり、レクレーションに取り組んで、楽しく生活出来るよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人宛の郵便物の返送、電話連絡を行っています。契約終了時後も相談があった際には、アドバイス等させて頂いています。看取り退居された家族様方が、来所して下さいます。（畑・カラオケ）		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中で、思いや要望を聞き出しています。又、ご家族様からご利用者様に関わる話を聞くよう努力しています。何事でも、本人の意向が叶えられるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時に生活歴・生活状態をご利用者様本人とご家族様から情報収集し、入居後も把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	フロア会議を行ない、1人ひとりの心身状態を考慮した残存機能について話し合い、無理のない現状維持・把握に努め支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様・ご家族様の意向や生活歴を取り入れ、その人らしく、より良い生活が出来るよう職員間で話し合い、介護計画書を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録はタブレット入力。日常の様子や会話等を記録しています。フロア日誌も活用し情報共有してます。月1回フロア会議や状況の変化など必要に応じて話し合い、介護計画書の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	重度の利用者様には、医療関係者との連携を図りながら看取り介護を行っています。また、家族様の要望を聞き、必要なサービスを提供しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等の際にはボランティア様に協力依頼し、楽しんで頂ける環境作りをしています。又、地域開催イベント等、介護タクシー利用にて外出し、楽しんで頂いてます。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回訪問診療があり、血液検査やレントゲン等も受けられます。特変時等は24時間連絡が取れ相談可能です。ご家族様と協力し適切な医療を受けられるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回医療連携看護師による定期的な健康管理を行っております。ご利用者様の個人ノートに健康状態や気づきを記載して診て頂いてます。気軽に相談できる関係で助言を頂いてます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご利用者様の普段の状態をサマリー提供しております。入院中はお見舞いにて、早期退院に向け病院側と情報交換に努めています。ムンテラの際には同席し情報共有しながら対応しております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	『重度化した場合の対応に係る方針』『看取り介護マニュアル』に沿って、ご家族様・医師・職員で話し合い連携体制を取っています。又、看取りケアプランを作成し、ご家族様・医療関係者と連携しながら支援しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に消防署指導のもと、心肺蘇生法を学び、直ぐに対応出来るようにしています。緊急時・事故発生時の対応マニュアルは目の届く場所に掲示しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行っております。うち1回は夜間想定訓練実施。消防署長、地域の消防団の方が協力して下さいます。備蓄の充実に努め、防災頭巾や充電式電灯など準備しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ時など、その人に応じた声掛けを行い自尊心を傷つけることのないよう注意しています。転倒予防の為、すぐに気づき、駆け付けられるようにドアを開放していますが、ドアの代わりに、つい立をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お茶など、好きな飲み物を提供しています。又、普段の会話の中で思いや希望を聞き出しています。「髪を切りたい」「お寿司が食べたい」等の要望が聞かれましたら、早急に対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外に出たいとの希望があれば散歩時間を設け、家事のお好きな方は、手伝いをしていただくなど、一人ひとりの希望に沿えるよう支援しております。昼食後の昼寝時間も大切にしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	「パーマをかけたい、髪染めしたい」等の要望に対しては訪問理美容に来て頂いてます。外出時やイベント時には化粧をしたり、おしゃれが出来るよう支援してます。納涼祭には浴衣を着て頂いております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶を入れて頂いたり、盛り付けを手伝って頂くなど、職員と一緒に準備しております。食後の片付けも出来る範囲で、食器拭きなどして頂いてます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好き嫌いを把握し、食材注文時は代替品に変更しております。食事形態は常に配慮し、水分摂取の少ない方へは、容器や味を工夫し、個々の状態に合わせて摂取できるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行なっております。1人ひとりの力に応じて介助しています。又、月4回歯科衛生士・月2回は歯科医師にお越しいただいており治療やアドバイス等いただいております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	毎食後は、トイレ誘導しています。又、1人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛け誘導しています。排泄サインを見逃さないよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご家族様協力のもと、個々に応じたヤクルト・ヨーグルトなど排便を促す食べ物や飲み物を提供しています。又、水分量にも気を付けています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴状況に応じて声掛けしています。拒否がある場合には対応職員を変えたりすることで週2回のペースで入浴して頂くよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転に配慮しながら、利用者様の状況に応じて休息して頂いてます。普段は、昼食後に居室で30分程休息を促しています。30分休息も定着しています。居室の空調も調整し、体調に合わせて日常静養して頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援システム「服やっくん」を導入。写真付のケースに当日分の薬を入れ、必ずWチェックし、ご本人様へ確認をして頂き服用していただくことで誤薬防止に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯・食器拭きなど、個々に応じた役割や、気分転換に外気浴しながらのお茶をするなど、喜びのある日々を過ごせるよう支援しています。又、散歩や個別外出をしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候に合わせた、外気浴や散歩を行っています。日頃の利用者様との会話から希望を把握し、買い物や食事に外出しています。又、ご家族様の協力を得て、全員で外出するイベント等も開催しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近所のお店で買い物をする際には個々の能力に応じて、買い物をいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様へ電話されたり、知人との手紙のやり取りなど、ご利用者様の状態・能力に応じて支援しております。年賀状の希望を伺い必要な方には購入やポスト投函等の支援を行っております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気や、居心地の良い空間作りに努め、季節感のある物を飾っております。庭に面したドアから、車椅子でも外に出られるようスロープを設けています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お一人お一人の居場所を大切にしており、他利用者様と雑談したり出来る長椅子を設置してます。庭先にも長椅子を置き、ゆったり過ごせるよう工夫しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と相談しながら、テレビや個々の使い慣れた家具や写真等を置き、居心地良く安心して暮らせるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態に合わせた自立支援の検討を行い、混乱や失敗のないように配慮し、安全な生活が送れるようにしています。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム
みんなの家・横浜三保2

作成日 令和8年2月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	16	備蓄品について。 停電の際にライト類の場所が分からず、その後見つけたものの電池が切れていた。	備蓄品の場所の周知と電池類のチェックが必要である。	・備蓄リストの再整備 ・場所の周知	3か月
2	15	外国人の職員に対してマニュアルの整備が必要である	事業所としての個別のマニュアルの作成	事業所としてのマニュアルの作成	6か月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。